

戦略的イノベーション創造プログラム（S I P）
重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保 推進委員会（第 1 回）
議事要旨

1. 日 時：平成 27 年 11 月 11 日（水） 15：00－17：00

2. 場 所：中央合同庁舎 4 号館 11 階 共用第 1 特別会議室

3. 出席者：（敬称略）

＜総合科学技術・イノベーション会議＞

久間 和生 総合科学技術・イノベーション会議議員

＜プログラムディレクター＞

後藤 厚宏 プログラムディレクター

＜サブ・プログラムディレクター＞

手塚 悟 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 教授

＜外部有識者＞

青木 隆典 一般社団法人 日本民間放送連盟 常務理事

（代理出席： 山内 弘 一般社団法人 日本民間放送連盟 事務局長）

熱海 徹 日本放送協会 情報システム局 IT 企画部情報セキュリティ対策 専任部長

有村 浩一 一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター 常務理事

大島 健二 三菱重工業株式会社 防衛・宇宙ドメイン先端技術事業部 事業部長

葛巻 清吾 トヨタ自動車株式会社 製品企画本部

CSTO (Chief Safety Technology Officer) 補佐 (SIP 自動走行システム PD 代理)

平 和昌 国立研究開発法人 情報通信研究機構ネットワークセキュリティ研究所 所長

竹原 達 電気事業連合会 情報通信部長

舘 剛司 公益財団法人 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
テクノロジーサービス局長

手塚 悟 東京工科大学 コンピュータサイエンス学部 教授

留岡 正男 東京地下鉄株式会社 取締役

（代理出席： 蝶野 正浩 東京地下鉄株式会社 鉄道本部電気部 総合指令所担当課長）

頓宮 裕貴 独立行政法人 情報処理推進機構 技術本部セキュリティセンター長

藤本 秀雄 東日本電信電話株式会社 取締役 ネットワーク事業推進本部長

前川 忠生 東日本旅客鉄道株式会社 常務執行役員 鉄道事業本部 副本部長

三木 暁朗 東京都 総務局行政改革推進部長

（代理出席： 後藤 啓一 東京都 総務局行政改革推進部 システム評価担当課長）

渡辺 文夫 株式会社 KDDI 研究所 会長

<関係省庁>

阿蘇 隆之 内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター 参事官
柳原 拓治 内閣官房 内閣サイバーセキュリティセンター 参事官
大森 一顕 総務省 情報流通行政局情報流通振興課 情報セキュリティ対策室長
瓜生 和久 経済産業省 商務情報政策局情報経済課 情報セキュリティ政策室長
(代理出席： 渡邊 昇治 経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課長)
金子 英幸 国土交通省 総合政策局 情報政策課長
(代理出席： 浜田 義和 国土交通省 総合政策局 情報政策課 情報危機管理官)
井上 健二 国土交通省 鉄道局総務課 危機管理室長
(代理出席： 渡辺 満良 国土交通省 鉄道局総務課 危機管理室専門官)
山岡 建夫 防衛装備庁 技術戦略部 技術戦略課長
(代理出席： 水田 敏也 防衛装備庁 技術戦略部付)

<管理法人>

山崎 知巳 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
電子・材料・ナノテクノロジー部長
(代理出席： 吉木 政行 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
電子・材料・ナノテクノロジー部 統括研究員)

<事務局>

松本 英三 内閣府 大臣官房審議官
岩松 潤 内閣府 参事官(戦略的イノベーション創造プログラム担当)
布施田 英生 内閣府 参事官(重要課題達成担当)
大洞 龍真 内閣府 企画官(戦略的イノベーション創造プログラム担当)
中西 悦子 内閣府 企画官(戦略的イノベーション創造プログラム担当)
日高 浩太 内閣府 参事官(重要課題達成担当)付 上席政策調査員
対馬 健 内閣府 参事官(戦略的イノベーション創造プログラム担当)付 政策調査員

4. 議事

議題1(公開) SIPの概要及び各種規程について

議題2(公開) 推進委員会の設置及び運営要領について

議題3(公開) 研究開発計画について

議題4(公開) 研究者公募の方法、審査基準等について

議題5(公開) 推進委員会の構成員とするサブPD、専門家等について

議題6(公開) 今後のスケジュール

議題7(公開) その他

5. 配布資料

(配布資料)

資料1-1 SIPの概要

- 資料 1－2 科学技術イノベーション創造推進費の基本方針
- 資料 1－3 SIP の実施方針
- 資料 1－4 SIP の運用指針
- 資料 2－1 SIP 推進委員会の設置について
- 資料 2－2 重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保推進委員会運営要領
- 資料 3－1 「重要インフラ等におけるサイバーセキュリティの確保」研究開発計画
- 資料 4－1 研究者公募の方法、審査基準等について
- 資料 6－1 今後のスケジュール

6. 議事要旨

議事に先だち、昨日（11月10日）の第12回総合科学技術・イノベーション会議にてプログラムディレクター（PD）として正式決定した後藤PDから挨拶が行われた。久間議員からはSIP設立の経緯とその趣旨、2020年東京オリパラに向けて当課題に対する期待について、ご挨拶があった。また、事務局より出席者の紹介が行われた。

議事の進行は、議長の後藤PDによる。

（１）SIPの概要及び各種規程について

資料１－１から１－４に基づき、事務局から説明が行われた。

出席者からの主な発言は以下の通りである。

- ・資料１－３ではこの課題の平成27年度予算が5億円となっており他の課題よりも相当少ない予算となっているが、初年度だからという理由で良いのか。また、今後の予算の見込みはどの程度か。（平構成員（情報通信研究機構））

⇒ほかの課題は本年度4月からのスタートであるが、SIPサイバーは今日の推進委員会後に公募を開始して、本年度の実質的な執行期間が2か月程度しかない。よってこのような予算となっている。平成28年度以降の配分額は、ほかの課題の本年度評価の結果とサイバーの研究開発計画の内容次第となるが、おおむね他の課題と同様の金額になる予定である。（事務局）

（２）推進委員会の設置及び運営要領について

資料２－１、２－２に基づき、事務局から説明が行われた。

出席者からの主な発言は以下の通りである。

- ・推進委員会で議論を深めたいのは、資料２－１にもあるように「研究開発の内容や目標」「研究開発の体制」「進捗管理、成果の管理・活用」「実用化・事業化に向けた戦略」「各課題の推進」である。こういった内容に関して忌憚のない議論を交わしたい。（久間議員）

（３）研究開発計画について

資料３－１に基づき、事務局から説明が行われた。

出席者からの主な発言は以下の通りである。

- ・資料３－１の中で「重要インフラ」と「重要インフラ等」の2つの表現があるが、使い分けがあるのか。（葛巻構成員（トヨタ自動車））

⇒重要インフラについては「重要インフラの情報セキュリティ対策に係る第3次行動計画」（内閣サイバーセキュリティセンター（NISC））で定めている13分野が該当する。自動車等が重要インフラに含まれていないので、自動車等を含めるときには「等」を付けている。（事務局）

- ・社会実装技術に係る認証、人材育成には時間がかかる。約4年間のプログラムの間でどこまでを目標とするか、今後議論を深めていく必要がある。（頓宮構成員（情報処理推進機

構))

- ・ 13 の重要分野に共通的な技術として重要なポイントを研究するのは的を射ていると思う。
しかし攻撃側からすれば 13 分野の固有の弱点（脆弱性）を突いてくる可能性があるため、
研究項目の絞り込みが難しいのでは。（渡辺構成員（ＫＤＤＩ研究所））
⇒分野として３つ（通信・放送、エネルギー、交通）にフォーカスして、順次他分野に横展
開することを想定している。具体的な内容は今後議論したい。（後藤ＰＤ）
- ・ 現状で人材育成はどのような仕組みを想定しているのか。（平構成員（情報通信研究機構））
⇒重要インフラの事業者の中で活躍しているエンジニアがサイバーセキュリティのスキルや
ノウハウ等を習得し、セキュリティに関するインシデント発生時への対応を行うことを、
現状の目標としている。（後藤ＰＤ）

（４）今後のスケジュール、公募等について

資料４－１に基づき、管理法人（ＮＥＤＯ）から説明が行われた。

（５）推進委員会の構成員とするサブＰＤについて

事務局より、後藤ＰＤが候補として人選した東京工科大学手塚教授をサブＰＤとして内閣府が委
嘱するとの説明が行われた。

（６）その他

資料６－１に基づき、事務局から説明が行われた。

- ・ 平成２８年１月中旬を目途に第２回推進委員会の開催を予定。

以上